

会員紹介 (当コーナーでは、JNSA で活躍されている会員の方に、リレー方式で自己紹介をしていただきます。)

アルプス システム インテグレーション株式会社 菅野 泰彦



皆様こんにちは。アルプス システム インテグレーション株式会社 セキュリティ事業部 渉外グループの菅野泰彦 (かんのやすひこ) と申します。JNSA では、2009年からセキュリティ市場調査WG、2010年からセキュリティ啓発WG、2011年からJNSAソリューションガイド検討WG、2012年から社会部会の活動に参加させていただいております。また弊社の本多則克が、昨年まで在宅勤務における情報セキュリティ対策検討WGに参加させていただいております。各WGで活動を共にする皆様や事務局の方々とは真剣で楽しい交流を重ねる

ことは、仕事はもちろん、これからの人生においても大切なつながりだと思っています。

東日本大震災の折、アルプス電気グループの東北各拠点工場へ向けて、水・非常食・衣類・その他の生活必需品を毎日の様にピストン輸送していたあの時、JNSAの理事の方が、本当に気の利いた即効性の有る救援物資を、2011年3月23日と25日の2回にわたって100点以上、間引き運転で込み合う電車に乗って池上線の雪谷大塚にある弊社まで届けてくださいました。それらは即日、東北の工場周辺の被災地の皆様に送り届けられました。こうして大勢の皆様のおかげをもちまして、東北のものづくり産業は驚くほど早期に復旧を遂げました。復旧・復興にあたっては、セキュリティ分野を含む専門家や関係者が、日頃培った理論だけではなく実践力・行動力を今尚継続して発揮いただいております。

弊社アルプス システム インテグレーション株式会社は1990年創立、1995年からWebフィルタリング製品を開発・販売してきた日本のフィルタリング業者の草分けで、情報漏洩防止対策製品の自社開発・販売を推進する企業です。これらの製品は、企業や公共施設が平穏で正常に稼働している場面での安全安心を提供するものであり、セキュリティ市場の商品の中では主にインターナル(内部的)なセキュリティ事故を予防する種類のものであります。従いまして、経済活動が順調に行われていて、セキュリティ業界の発展に貢献するJNSAの会員の皆様に認知されてはじめて満足に行く仕事ができると考えております。

現在私は、弊社の業務としてフィルタリングの利用啓発の講演を担当しておりますが、一般の方々に情報セキュリティの重要性を伝えていくJNSAの普及啓発活動に通じるテーマであることから、この分野での専門性を追求し精進して行く事を目標にしております。

これまでの皆様の温かいご支援ご協力に感謝しつつ、これからも微力ながら皆様と共にJNSAの活動をしていく所存です。どうかひとつ今後ともよろしくご厚意申し上げます！

SCSK株式会社 手塚 信之



JNSA会員の皆様、はじめまして。SCSK株式会社の手塚信之と申します。株式会社ディアイティの青嶋様よりご紹介を受け、今回本コーナーを担当させていただくことになりました。

最初に私の業務のご紹介を。私自身は、この十数年、各種セキュリティ製品・サービス担当として仕事をしてきましたが、最近は少し立場を変えて、主にITシステムの運用管理よりの業務に携わっています。

具体的にはSplunkというデータ解析プラットフォーム製品を担当し、システムの障害解析からリソース管理やWebアクセス解析、毛色の異なるところでは各種センサーデータの有効活用といったことをお客様と一緒に考えていく業務となります。

皆様おなじみのログ管理の観点でのセキュリティのご相談もありますが、これまで直接関わったことのない業務領域のお話も多く、社内の各領域の専門家たちの力を借り、いろいろな刺激を受けつつ業務を進めています。

業務は少し変わったものの、セキュリティという分野への興味は尽きず、昨年JNSAでの活動としては「スマートフォン活用セキュリティポリシーガイドライン策定WG」、「SNSセキュリティWG」に参加させていただいております（懇親会になると特に調子が出てきます!）。今年も引き続き活動に参加し、少しでも皆様のお役に立てればと思っています。

また、JNSA活動における今年の個人的な目標として、制限ぎりぎり最後に参加させていただいたU40部会の活動にひとりでも多くの若手を巻き込みたいと考えています。若いうちは業務調整がなかなか難しいこともありますが、同じ分野に携わる方々と交わる機会はとても得がたいものだと思います。ご興味のある方はとりあえず一度参加してみることをお勧めします。

少し堅めの自己紹介となりましたが、最後に余談を。

仕事を離れたプライベートでは、お酒と音楽、SFや歴史小説にはまりつつ、のんびりぼんやり過ごしています。こちら方面でも同好の士がいらっしゃいましたら、ぜひ一献ご一緒に。

それでは皆様、今後ともよろしく願いいたします。